

参考

国道2号茶屋交差点整備検討会(第1回、第2回 開催結果)

【第1回検討会 概要】

第1回の検討会では、山口大学 理工学研究科 田村准教授をコーディネーターに、地元住民代表者や船木小学校、楠中学校の学校関係者、宇部警察署、道路管理者(宇部市、山口県、国)などの参加により、茶屋交差点などの現状や交通安全上の課題などについて、意見交換を行いました。



第1回検討会の状況(11月5日)

【第2回検討会 概要】

第2回の検討会では、より生活実感を反映した交通安全対策について検討するため、国道2号「茶屋交差点」や「船木大橋西詰交差点」についての「現地検討会」を開催しました。

「現地検討会」では、より多くの地域の方々の声を聞くため、地域にお住まいの方々や学校関係者に呼びかけを行い、行政(宇部市、国)なども含め45名が参加し、茶屋交差点などの現状について現地での点検を行いました。



現地点検の状況(11月22日)

その後場所を船木ふれあいセンターに移して、ワークショップ形式で意見交換を行いました。

参加された皆様からは、「横断歩道が無いので不便」、「市道からの右折が難しい」など多くのご意見をいただきました。(主な意見は次頁参照。)



ワークショップの状況(11月22日)

今後は「現地検討会」でのご意見を踏まえ、交通安全対策(整備の方向性)などについて、検討を進めます。

《地域の方々から頂いた主なご意見》



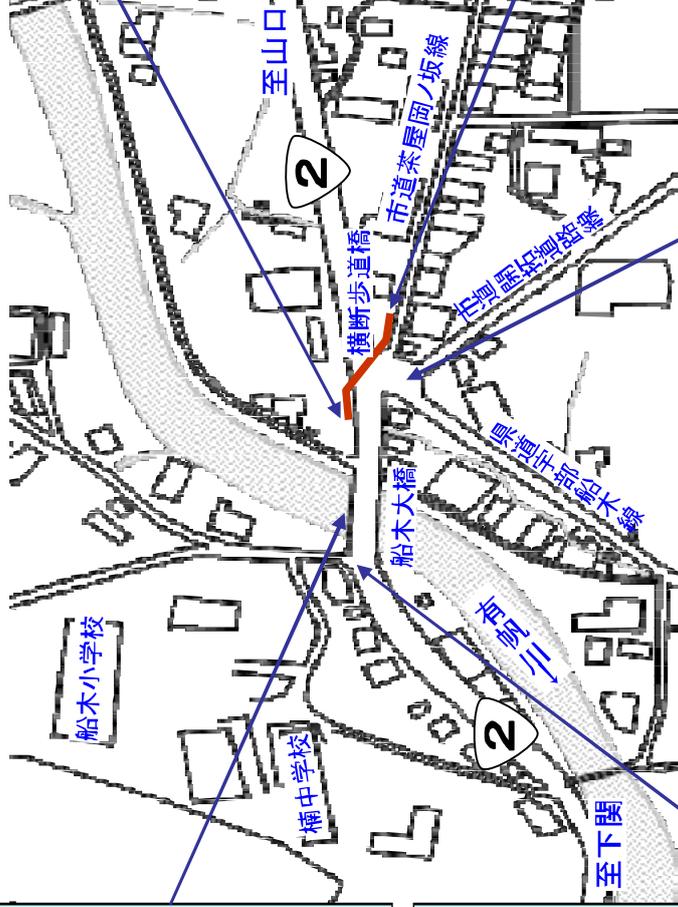
- ・船木大橋の歩道が(車道より)低く危険を感じる。
- ・船木大橋の歩道が狭く、段差がある。



- ・市道(学校方面)から国道に出にくい。
- ・学校に入る時、右折が難しい。



- ・車のスピードを下げる工夫が欲しい。
- ・船木大橋の歩道は(手前がカーブの為)トラックが突っ込んできそうな恐怖感がある。



- ・用水路に蓋をかけて歩道を広くして欲しい。



- ・歩道橋の幅が狭い。



- ・横断歩道がない為、高齢者等が交差点内を通行している。
- ・右折レーンを設置して欲しい。



- ・市道からの右折がとても難しい。
- ・交差点の中で一時停止している車があるので危険。



- ・茶屋バス停(交差点内)の位置が悪いので安全な場所へ移動して欲しい。